

春を告げる

山野草の群生地

英田

河会



立春の頃、真っ先に春を教えてください。花～節分草。

「春を告げる花」節分草は山すその半陰地などに生える多年草でちょうどこの地を好んでこの地にふさわしく咲いています。

地中の根元奥深くからやっと生きてきて咲いています。どうぞ大切に見守ってやってください。

7種類の山野草



■セツブンソウ (キンポウゲ科)
この名のお通り、山地の草花では一番早く、雪の中、霜の中でもけなげに花を咲かせている。花弁はふつう5枚だが、重弁もまれに見かけられる。
花期は2月上旬から3月下旬。



■イチリンソウ (キンポウゲ科)
花は径4cmで裏が赤みを帯びたものをウラベニイチゲと呼ぶこともある。普通1本の花茎に1個の花をつけるが、2～3個咲いているものも時々見かける。
花期は4月上旬から下旬。



■アズマイチゲ (キンポウゲ科)
白と紫のとり合わせが、野の花とも思えぬ高貴さを漂わせ、一面に群生して咲いている所は、息をのむほどの美しさである。
花期は3月中旬から4月上旬。



■ヤマブキソウ (ケシ科)
晩春の林の中をバツと明るくするように、ヤマブキソウの群れが黄金色の花を咲かせる。その優美さは毒草であることを忘れさせるほどである。
花期は4月下旬から5月中旬。



■ニリンソウ (キンポウゲ科)
まだ芽の伸び切らぬ雑木林の下で、緑の葉のカーペットに、白い星をちりばめたように一面に咲いているところは、春のいぶきそのものといった感じがある。
花期は4月上旬から5月中旬。



■キバナノアマナ (ユリ科)
花弁の内側は美しい黄色であるが、外側は白っぽくて地味な花で、よく見なければ見落としてしまうことが多い。
花期は3月中旬から4月上旬。



■ラショウモンカズラ (シソ科)
長さ4～5cmで芳香のある大ぶりの明るい紫色の花が、10個ばかり同じ方向を向いて咲き、なかなか見栄えのする花である。
花期は4月下旬から5月下旬。